

まちの話題



世界で活躍する一流の音楽家が観客を魅了 ～第4回枕崎ミュージックフェスティバル～

■枕崎ミュージックフェスティバルが6月5日、市民会館で開催されました。今回は、馬頭琴演奏家のリボーサンや、テノール歌手のボウジンソンさん、ホーミー歌手の岡林立哉さん、琴演奏家の立石洋子さんなど、世界で活躍する一流の音楽家が出演。会場いっぱいに詰め掛けた観客は、その歌声や音色に魅了されていました。

このミュージックフェスティバルを企画し、テノール歌手としても出演した白澤玲子さんは「多くの人がこのフェスティバルをとおし“感動”という言葉を口にされています。これ以上の喜びはありません」と話していました。



■4月16日から5月16日までの期間で実施された「第3回ぶえん鯉スタンプラリー」の抽選会が6月3日、市漁業協同組合の会議室で行われました。今回は1ヶ月間の開催でしたが、各種マスコミへの宣伝や試食会を行なった結果もあり、2ヶ月間開催した前回を約300通も上回る824通の応募がありました。

応募者の住所を見ると、期間中にゴルデンウィークをはさんだこともあり、県外からの応募が半数近くと、遠くからたくさんの方々が枕崎を訪れたようです。

抽選会には、1等の32型デジタルハイビジョン液晶テレビなど合わせて41点の賞品が用意され、ブエンマンや実行委員が次々と応募ハガキを引いて当選者が選ばれていきました。

○当選結果などのお問い合わせ

ぶえん鯉スタンプラリー実行委員会 TEL72-2110

南溟館でゆったりと音楽を楽しむ

～YEG（枕崎商工会議所青年部）音楽祭～

■枕崎商工会議所青年部主催の野外音楽祭「YEG音楽祭」が6月6日、南溟館の野外広場で開催されました。この音楽祭は、地域の活性化と南溟館の利用価値の追求、地域文化の発信と人の交流を目的にしたもので、高校生バンドや市内外の実力派バンドが多数出演し、会場は大いに盛り上がりました。

また会場には、無料で食べ物や飲み物を提供する場所も設けられ、観客はゆったり、のんびりと野外での開放的な音楽祭を楽しんでいました。



かつお節のこと もっと好きになったよ ～枕崎青鯉会が小学生に“かつお節”を使った食育活動～

■枕崎青鯉会（神山悟郎会長）が5月26日、枕崎小学校で5年生の全児童87人に対し、かつお節を使った食育活動を行いました。この活動は、枕崎鯉節のすばらしさを知ってもらい、かつお節の歴史と伝統を次世代を担う子どもたちに伝えるのが目的で、昨年から保育園を中心に実施しており、今回、小学校では初めての活動となりました。

児童たちは、枕崎青鯉会の会員からかつお節ができるまでの工程を学んだあと、実際にかつお節を削り、それを茶節にしておいしくいただき、本市特産品の1つであるかつお節についての理解を深めました。

参加した若松鼓くんは「かつお節の種類や作り方を知ることができた。かつお節を作るのは力のいる大変な仕事なんだと思った。自分で作った茶節もおいしかった」と話してくれました。



学年別個人戦の結果(敬称略)

3位	2位	1位	6位	3位	2位	1位	5位	3位	2位	1位	[4年生の部]
菊永	中嶋	森	水江	水江	水江	前山	前山	宮路	前山	水江	小太郎
野下	勝志	健太	太郎	滉稀	滉稀	昌哉	聖	隆	昌哉	昌哉	小太郎
良唯	和志	大	太郎	和志	和志	太郎	和志	和志	和志	和志	和志
和摩											

志くん(枕崎少)は「お相撲さんは大きく押してもびくともしなかった。今、柔道をしている。僕もお相撲さんのように強くなりたい」と話してくれました。教室は相撲体操からはじまり、仕切り立ち合いなど基礎的な練習をしたあと、学年別の個人戦を行いました。個人戦のあとには、上位入賞者が力士にかがついていく場面もあり、会場いっぱいに詰め掛けた観客からは大きな歓声が上がっていました。

個人戦のあとには、上位入賞者が力士として相撲体操からはじまり、仕切り立ち合いなど基礎的な練習をしたあと、学年別の個人戦を行いました。個人戦のあとには、上位入賞者が力士にかがついていく場面もあり、会場いっぱいに詰め掛けた観客からは大きな歓声が上がっていました。

志くん(枕崎少)は「お相撲さんは大きく押してもびくともしなかった。今、柔道をしている。僕もお相撲さんのように強くなりたい」と話してくれました。



卓球の普及と技術向上に一役

～「枕崎きばらん海クラブ」が卓球教室～

■枕崎きばらん海クラブ主催による卓球教室が6月12日、総合体育館で行われ、中学生約40人が同クラブ卓球教室の指導者や鹿児島県水産高校の生徒ら約10人から指導を受けました。

この卓球教室は、本市での卓球の普及と子どもたちの技術向上を目的に行われ、今回で2度目の開催となりました。同クラブ卓球教室で指導者をしている立石仁志さんは「1年生には基礎をしっかりと教えた。上級生にとっては、間近にひかえている中体連の調整になったのです」と話していました。



今、思うことを力強く発表

～枕崎市中学校弁論大会～

■枕崎市中学校弁論大会が6月17日、市民会館で開催され、市内各中学校の代表9名と、特別参加の高校生2名が発表しました。発表者の堂々とした姿に、会場からは大きな拍手が送られていました。

最優秀賞には揚野将くん(桜山中2年)が輝きました。「誇りをもって生きる」という題で発表した揚野くんは、小学3年生のとき、友達のあじいちゃんから、国を守るために兄は特攻隊で戦死したという話を聞き、その姿勢に感銘。自分を犠牲にしてでも國民を守るような仕事がしたいと思うようになり、警察官を目指すようになったことを力強く発表しました。

現役力士に胸をかりて
～少年相撲教室～

■財団法人日本相撲協会が後援する「少年相撲教室」が6月5日、駒場公園相撲場で行われました。この教室は、正しい相撲道の普及を図ることも、少年の心身の健全育成を目的に行われているものです。当日は、市内の小学4年生から6年生までの84人が参加。児童たちは、日本相撲協会から派遣された峰崎親方(元前頭・三枚機と秋乃峰(二段目)、誇山(三段目)、赤峰(序二段)の3力士から指導を受けました。

した。

教室は相撲体操からはじまり、仕切り立ち合いなど基礎的な練習をしたあと、学年別の個人戦を行いました。個人戦のあとには、上位入賞者が力士にかがついていく場面もあり、会場いっぱいに詰め掛けた観客からは大きな歓声が上がっていました。

志くん(枕崎少)は「お相撲さんは大きく押してもびくともしなかった。今、柔道をしている。僕もお相撲さんのように強くなりたい」と話してくれました。

個人戦のあとには、上位入賞者が力士にかがついていく場面もあり、会場いっぱいに詰め掛けた観客からは大きな歓声が上がっていました。

志くん(枕崎少)は「お相撲さんは大きく押してもびくともしなかった。今、柔道をしている。僕もお相撲さんのように強くなりたい」と話してくれました。